

一、長野縣廳 長野 三、 五、(齊長)

一、安知縣廳 東 六一六〇
大 一六六 (時間外)

一、大坂市廳 東 五五〇〇
五 六〇〇

(其ノ他調査中)

第一報

昭和十一年二月二十六日午前九時

一、午前五時二十分頃兵隊約五〇〇名トニケ中隊出動(約一千名位?)

一、内大臣ハ私邸ニテ(即死)

一、大蔵大臣私邸ニテ(即死)

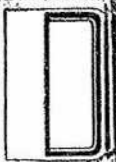
一、首相ハ官邸ニテ(即死)

一、教育總監ハ頻死ノ重傷

一、牧野伸顯ハ小田原別邸ニテ一隊隊、牧野大外九名(殺害斃)

一、義舉ヲ受ケ小田原別邸焼却ニ夕上ニ本人

ハ無事健在



情況ヲ管内大臣ニ次官ヨリ通知済、午前九時

ニ於テ待遊長ハ襲撃セラレ傷害ヲ受ケタリ

ニ管内大臣(六時) 即刻管内

ニ内務省、警視廳へノ出入ヲ軍隊ニ於テ禁止、警視廳

トノ電話連絡遮断(午前九時頃連絡ソマタリ)

一、司法省前二個中隊、警視廳特別警備隊前、廳庭ニ約ニ

ヨリ名ノ軍隊アリ、半蔵門、櫻田門、赤坂見附、警視

ヨリ内務省警視廳へノ出入遮断

一、午前七時全国各地へ新聞記事差止通牒発(同時ニ各

地方廳へ事件ノ概要警報方通知)

一、警視廳ヨリ憲兵司令部、東京警備司令部ヲ通ジテ

撤退方交渉(赤坂五午前八時頃)

一、警視廳ハ神田錦町警察署ニ本部ヲ置ク

第二報

二月二十六日午前十時十五分通信

(猪俣事務官)

- 一 軍隊ハ漸次警戒區域ヲ擴大シソツアリ
- 一 艦隊艦木曾以下四艦芝罘に入港
- 一 國民新聞社及電報通信社ハ一個中隊ニテ封鎖
- 一 陸軍大臣ハ参内(戒嚴奏請ニ為テ)
- 一 第一師團特科隊出動、第一師團司令部ニ報告シ
ソツアリ
- 一 真崎大將、香椎中將ハ憲兵司令部ニ來テ
- 一 安部特高部長ハ憲兵司令部ニ赴キ軍ノ出動ノ
ヲ要求シ戒嚴令ハ目下治安維持サレルヲ

布クノ必要ナキ意見ヲ述ブ

第三報

昭和十一年二月二十六日午前十時十分

一 朝日新聞社ハ兵隊百五十名餘ニテ包圍代表者ニ面會ヲ求メタリ

一 國民新聞社ニモ午前九時ニ十分頃兵隊一個中隊位ヲ寄セ包圍ニ代表者ニ面會ヲ求メ野中大尉ヨリ蹶起理由書ヲ提出印刷ノ上一紙ニ頒布方ヲ要セリ

一 我々ハフアツレヨニテモ何デモナイ、レイタケラ

レタル國民ノ爲メニ立ツノデアツテ、

一 君萬民ノ政治ヲ布ク爲メデアリス去々

第四報

二十六日午前^{4時}三十分情報

(秋吉事務官)

一、横須賀海軍ハ陸軍ト呼應シテ起ツコトハ全然
ナイ

一、驅逐艦木曾、塩風、中風、下風ノ四隻ハ品川沖
ニ向ヘリ

一、横須賀ノ海軍ノ諸官衙ハ武装セル海軍兵ニコ
リ警戒サレ居レリ

第五表

昭和十一年二月二十六日前十時五五分

一、總理大臣ハ襲撃ヲ受ケテニ逃レタルニ雪ノ中ニ終
テ即死

二、讀賣新聞號

題名

二十六日附號外

單版ノ三十名檢照鏡ヲ教育總監私印ヲ襲撃す

本朝六時總理即死現場ハ峰ノ嶽ノ傍

本文

上款室ニノ三六教育總監渡邊鏡太郎私印ヲ

軍服ノ三十名カ軍服用ノ一ツクニ乗車シテ

憲兵隊ト小競リ合ヒノ後校尉三合ヲ以テ

私印ヲ乱カシテ總監即死セリ

一宮内省へ参謀總長官一軍参謀官ト参集、各六官

ハ不参(前二、五五)

第六報

昭和十一年二月廿六日午前十一時五十分

目下栃木縣金丸原ニ演習中ノ近衛第四聯隊ノイハ

百名ニハ即時帰還スベシトノ電命アリ(電命(方面) 調査中)

貨車ヲ利用シ帰京ノ準備中

第七報

昭和十一年二月二十六日午後四時四十五分

第六報報告ノ第四聯隊ニ對スル電命先調査スルニ左
記ノ通り

近衛師團長發信

(午前九時十分)

(發信局麹町半藏門局發)

近衛第四聯隊長宛

東京非常團ハ確實ニ本職ノ掌握下ニアリ其聯隊ハ直
ニ歸還準備アルベク、出發ハ後命ス特ニ部下ノ掌握
ヲ確實ニスベシ

第九表

二月二十六日午後一時三十分

○京脊有知事電話（午後一時受）

一、京脊方面ハ異状ナレ

一、軍隊（憲兵隊）ト協調シ治安維持ニ當リ憂フベ

×状況ナレ

一、大阪府モ亦同様ニレテ憂フベ×状況ナレ

○神奈川縣知事電報（午後〇時三十分受）

牧野前内府無事ニ避難中

○石川縣知事電報

管下ノ状況異状ナレ、引續×警戒中

○岡山縣知事電誌

管下ノ狀況異狀アリ

○群馬縣知事電誌

軍部ヨリ新聞社ニ對シ賑起趣意書ヲ印刷シテ
発行スベシト申來レレ由ニ付発行ヲ差止メタ
リ

第十報

賑起趣意書ノ全文左ノ如シ

賑起趣意書

謹ンデ惟ルニ我ガ神洲タル所以ハ萬世一神タル
天皇陛下御統帥ノ下ニ舉國一體生々化育ヲ遂ゲ終ニ
八紘一宇ヲ完フスルノ國體ニ存ス。
此ノ國體ノ尊嚴秀絶ハ天祖肇國、神武建國ヨリ明治維
新ヲ經テ益々体制ヲ整ヘ今マ方ニ萬方ニ向ツテ開顯
進展ヲ遂グベシノ秋ナリ。
然ルニ頃未遂ニ不逞兇惡ノ徒簇出しテ私心私慾ヲ
恣ニシ 至尊絶對ノ尊嚴ヲ藐視シ僭上之レ勸メ萬
民ノ生々化育ヲ阻碍シテ塗炭ノ疾苦ニ呻吟セシメ隨ツ

テ外侮外患日ヲ延ツテ激化ス。所謂元老重臣軍閥財
閥官僚政黨等ハ此ノ國体破壊ノ元兇ナリ。

倫敦海軍條約並ニ教育總監更迭ニ統帥權ヲ犯

至尊兵馬大權ノ僭竊ヲ囿リタル三月事件、或ハ學匪共

匪大逆教團等相害相結シテ陰謀至ラザルナキ等ハ最

モ著シキ事例ニシテ其ノ滔天ノ罪惡ハ、泣血憤怒眞ニ誓

ハ葦キ所ナリ。

中園、佐御屋、血盟團ノ先驅捨身、五一五事件ノ憤

騰、相澤中佐ノ閃發トナル是ニ故ナキニ非ズ、而モ

幾度カ頸血ヲ濺ギ來ソテ今尚此ニカモ懺悔反有ナク

然モ依然トシテ私權自恣ニ居ソテ苟且偷安ヲ事ト

セリ。

露支英米トノ間一觸即発シテ、相崇遺孽ノ此ノ神州ヲ
一擲破滅ニ墮ラレムルハ火ヲ睹ルヨリ明カナリ。

内外眞ニ重大危急今ニシテ國体破壊ノ不義不臣ヲ

誅戮シテ稜威ヲ遠リ御維新ヲ阻止シ來レル奸賊ヲ

芟除スルニ非ズンバ、皇謀ヲ一空セシム。

宛カモ第一師團出勤ノ大命喚発セラレ年来御維新

翼賛ヲ誓ヒ吾國捨身ノ奉公ヲ期シ來リシ帝奇衛隊ノ

我等同志ハ將ニ一方征途ニ上ラントシテ而カモ顧ミ

テ内ノ士狀ニ憂心轉々禁ズル能ハズ。

君側ノ奸臣軍賊ヲ斬除シテ彼ノ中樞ヲ粉碎スルハ我等

ノ任トシテ能ク為スベシ。

臣子タリ股肱タルノ絶對道ヲ今ニシテ盡サズンバ破滅沈

備ヲ離ヘスニ由ナレ。

茲ニ同慶同志機ヲ一ニシテ蹶起レ好敵ヲ誅滅シテ大義ヲ正シ國体ノ擁護開顯ニ所腦ヲ竭クレ以テ神淵赤子ノ微衷ヲ獻ゼントス。

皇祖皇宗ノ神靈冀クバ照覽冥助ヲ垂レ給ハンコトヲ

昭和十一年二月二十六日

陸軍歩兵大尉 野中 四郎

外同志 一 同

第十一報

昭和十一年二月二十六日午後一時四十五分

新聞社方面ノ情報(錦町警視廳本部ニテ)

- 一 宮中ニテ閣議中ナリ町田尚相其ノ中心タリ
- 一 午前十一時各宮殿下宮中へ参入ナル
- 一 戒嚴令ノ御裁可ヲ得ベク杉山参謀次長、川島陸相午前九時三十分参内
- 一 香椎中將ヲ司令官トシテ今夜七時迄ニ戒嚴令布告ノ豫定
- 一 行動隊兵力五中隊外ニ千葉野戰砲兵若干参加
- 一 警視廳ハ歩三ノ野中大尉指揮シテ占領ス行動隊長ハ安藤照歩兵大尉(歩一カ歩ニカ)

一 陸軍省員ハ軍人會館ニ在リ

一 憲兵隊ト行動隊ト交渉中

一 行動隊ハ憲兵隊ヘ押掛ケルトノ情報アリ

一 新聞記者ハ全所ヨリ退去ヲ命ゼラレタリ

一 昨年關東大演習陣中令其時カラノ計畫ラシ、西

田税モ關係アリ、真崎大將トモ連絡アルモノノ如

シ

一 高橋氏ハ拳銃デヤラレ銃劍ニテ刺サレ床ノ中ニテ

絶命ス

一 内閣ハ吉田氏中心ニテ對策講究中

以上新聞社方面ノ情報

午後二時四十分後藤内相、一木樞相參内セリ

第十二報

二十六日午後三時二十分

○神奈川縣知事電報（午後一時五十分後）

管下ニ急報在中ノ 皇太子殿下、皇子内親王殿下、
閑院參謀總長官同妃殿下、東伏見宮大妃殿下、
梨本宮守正王同妃殿下、北白川宮大妃殿下、朝香
宮忠孝王殿下何レモ急安泰ニ在ラセラル、尚列續
×嚴重警報中

○栃木縣知事電報（午後二時三十分）

一、非常警備

那須御用邸、李王邸、各駅御便所ヲ警報中、陸路
ニテ上京セントスル不穩分子ニ對シテハ自動車營業者
ト連絡シ適當ナル措置ヲトルコト

二、移動警察

東北本線、両毛線、東武電車ニ乗込ム
三、其ノ他特高警察ノ對象人物ニ對シテハ銳意在力内
傾中

○佐賀縣知事電報（午後一時二十分受）

重大事変發生ノ趣旨目録ノ上、吾國ノ爲善處賜リ
タレ、管内ノ事案ハ以今ノ處ニ支障ナレ、
尚事変ノ内容ハ可成早ク國民一般ニ周知セシメ人心
ノ安定ヲ許シユト必要ト思存ス

第十三報

二十六日午後四時

○鹿兒島縣知事電報（午後一時五十分）

本朝東京市ニ於ケル軍隊ノ襲撃事件ニ關シテハ目
下各管内民心動搖ノ微ナレ

○沖繩縣知事電報（午後一時四十五分）

貴縣祥泰直ニ警察ニ從事致シ居リ目下何等ノ流言
蜚語ナク平穩ノ状態ニ在リ、當縣隊區司令官、憲
兵隊長相謀リ警察ヲ繼續中

○群馬縣知事電報（午後二時五十分）

本縣ニ於テハ各方面共目下靜穩ナリ

○鳥取縣知事電報（午後三時三十分受）

今朝ノ事件ニ関シテハ、憲兵隊ト連絡對策ヲ講ス
ルト共ニ嚴密ニ偵査中ナルモ動搖ヲ認メズ
最近上京シタル軍人ナク、尚聯隊長ハ目下隊員ニ對
シ訓示中ナリ。

第十四表

警視廳報告
二十六日午後四時四十分受

午後四時第一師團管内嚴時警備ノ命令ヲ發セラレ
近衛第一兩師團（其ノ中ニ甲府又佐倉ノ兩聯隊ヨリ
各千五百名位参加ス）ガ警備計畫ニ基キ夫々警備
ニ就ク筈ナリ。

第十五報

警視總監報告

昭和十一年二月二十六日午後六時三十分受

一、午後四時戰時警備令（戒嚴令ニアラス）實施セラレ
軍隊ノ警戒着々充實ノ狀況ニアルモ一部情報ニ
依レハ襲撃兵ハ要求貫徹マテハ絶対撤退セスト
主張シ居ルモノノ如ク然モ夜ニ入り直心道場
其ノ他右翼團體ヲ使喚シ擾亂ニ導ク聞込アリ
當廳ニ於テハ各署ニ指示シ三人一組トシテ巡察
隊ヲ組織シ流言蜚語ノ取締並各種思想團體
ノ不穩計畫取締ニ全カラ傾倒シツツアリ、目
下ノ處特異ノ事項ナシ

第十六報

神奈川縣特高電話

昭和十一年二月二十六日午後八時受

牧野伸頭襲殺事件状況（後報）

一、當初警備員トシテハ警視廳ノ皆川巡查一名ニシテ
今人ハ邸内玄関ニ就寢中 神奈川縣ノ巡查ハ邸外
約三米ノ所ニ就寢中 午前五時頃拳銃ノ音ヲ聞キ
表ニ出テタル處表ニハ既ニ行動隊員拳銃ヲ擬シテ
居リタル為メ裏ノ崖ヲ飛降り裏山ニ至リ邸外堀
ノ附近ニ至リタル際牧野伸頭ハ夫人、女中、看護婦ト
共ニ今所ニ避難シ裏山ニ避難シタルモノナリ
尚牧野が堀外ニ至ル以前邸内ヨリ堀外ニ避難スル
為メ邸内ニ入リタル 岩本旅館主人及新聞配達伊

藤亀吉ノ兩名ガ夫人及女中看護婦等ヲ抱キ上ゲ
塀外ニ避難セシメタルモノナリ 其際行動隊ノ發砲
シタル拳銃ニテ多少ノ負傷者アリタル模様ナリ

死亡者 皆川巡查

負傷者 消防手一名 氏名不詳

一、管内一般情勢

管内右翼団体ノ首腦者ハ何レモ在宅シ居ルカ唯
政党解消聯盟ノ野村栄作ナルモノ 東京ニ行キ
不在中ニツキ手配中ナリ
其他異狀

第十七表

神奈川縣各事電報
二月二十六日午後八時四十分

縣下御階在サノ皇族 顯官ノ警備狀況

皇太子殿下、照宮殿下、 警察官一〇八名ヲニケ小隊

ニケ中隊編成トシテ警備ス、海軍関係下士官以下一三九

名、憲兵連士官以下十名ニテ警備ス

關院參謀總長官殿下、 警察官二十四名、

東本官守正王殿下、 警察官十一名

東伏見官大妃殿下、 警察官二名

北白川官大妃殿下、 警察官二名

東伏見官大妃殿下、北白川官大妃殿下御別邸ハ横須

賀野兵團ヨリ派遣ノ相原大尉ノ指揮スル二五〇名中

ヨリ衛兵ヲ派遣シアリ、皇太子殿下、各官殿下共ニ御
出立ナリ、
後野村顯、警務官五名、
金子、大岸、警務官二名、
津田、重部、警務官二名、
米野、松本、顧問官、警務官二名、
警備ニ在リテ、皆無事ナリ、

第十八報

大阪府知事電話
二月二十六日午後八時二十五分受

大阪ハ何等ノ異状ナシ 本朝第四師團官本參謀少佐、沼行
憲兵隊長ハ大阪府ニ警務部長ヲ訪問シ「大阪ノ軍隊ハ
何等異状ナシ 民間側ノ警戒ヲ頼ム」ト會談シテ別レタリ
海軍監督官清宮大佐ハ本日午後六時警務部長ヲ訪
問シ海軍モ何等異状ナク 大阪警備ニ當ル海軍艦隊
ヲ大阪港ニ入港セシメ警戒ニ當ラセシムル豫定デアル
經濟界ノ推移ニハ充分注意セルガ本日午後五時三十分
大阪手形交換所ハ代則彥銀行集會所長中根定彦、
大阪日銀支店長 商工會議所會頭ヲ大阪府廳ニ招
致シ知事ヨリ財界ノ動搖ニ付テハ東京トヨク連絡

ヲ採ツテ之ヲ防止スル様ニト懇談シ至極同感ナリト賛意
ヲ表シテ別ル
大阪府トシテハ芝罘所、水源地、瓦斯タンク其ノ他ノ要
所ヲ警戒中
右翼團體ノ幹部ヲ本日午前十一時ニ府廳ニ招致シ特
高課長ヨリ輕撃盲動ヲ戒メタルニ右翼團體モ充分
自重スル旨ヲ答へ會見ヲ終レリ

第十九報

梅水縣知事電報

二月二十六日午後八時廿五分

管下金丸隊ニ於テ演習中ノ近歩隊四將兵一、八三〇
名ハ本日即時帰隊ヲ命ゼラレ午後七時十五分管下
西郡領野取砲隊臨時列車ニテ歸來セリ
歩兵第五十九聯隊（宇都宮）將兵四五〇名午後七時
宇都宮発列車ニテ宇都宮警備ノ爲メ出發セリ、
尚歩兵第五十九聯隊ニ於テハハスレ十五台ヲ備上ダ
待機中。

第二十報

二月二十六日

○ 憲兵隊ヨリノ情報（午後九時十分）

佐藤寛治海軍大將ハ横須賀鎮守府ヨリ東京ノ
治安維持ノ爲メ二千名ノ陸戦隊ノ派遣ヲ奏請セリ

○ 嵩山縣知事電報（午後九時五十分）

目下ノ處一般市民ハ冷靜、

軍隊ハ目下郡部ニ於テ演習中ニシテ至極平穩ナリ、

愛國團體員ニシテ本朝正ニ今晚上京セントシタル者

二三アリシモ阻止セリ（本件ニ關シテ上京セントシタルモ

ノニ非ズ）

○高知縣各率電報（午後九時三十分）

管下ニ於テハ今朝来ヨリ嚴重警戒中ナルモ、隊隊在
郷軍人其ノ他ニ於テモ何等不慮ノ芽^{エサ}ナク一般市民
ニ於テモ動搖ナレ

第二十一報

二月二十六日

○宮城縣電話（午後八時五十分受）

一、一般人ハ狀況ヲ知ルニ由ナキ為不安ニカラレテ

ナル模様ナルモ特別ノ動搖ナシ

二、軍隊ハ目下ノ所動搖ナシ、第二師團長ハ二十六日

部隊長ヲ召集シテ輕舉スルコトナキ様訓示

セリ

三、右翼團體、在郷軍人方面モ目下ノ所特異ノ点ナキ

モ憲兵隊ト連絡嚴重警戒中

○二十六日午後十時電報

日比谷方面ニ喚聲上リ銃聲數發ヲ聞
ケリ

第二十二報

大阪府 電話

二月二十六日午後九時五十分受

- 一、管下ニ於テ將校ノ上京者ナク平穩ナリ、
- 二、當廳ニテハ午前十一時右翼團體幹部ヲ招致シテ
輕舉妄動ナキ様戒告ヲ與ヘタルガ一同之ヲ諒
承シタルモ、今夜京阪神ノ右翼主腦部ハ対策
ヲ協議スル模様アリ、又明日八月會及維新會
ノ合同會合行ハルルヤノ模様アリ、
- 三、御軍モ會合セントスル聞込アルモ目下ノ所會合
ノ事實ナシ、
- 四、右翼分子ニシテ所在不明ノモノ東上セルモノ目下ノ
所ナシ。

第二十三報

島根縣知事電報

二月二十六日午後十一時受

今朝帝都ニ於ケル不穩事件ニ付鋭意取締中ナ
ルガ、本県下ニ於ケル状況左記ノ通

誌

各隊隊高級幹部ハ現地戦術ノ爲メ松江ハ兵庫縣
下青野ヶ原、廣田ハ縣下才ノ島ニアリ不穩ノ状況
ナレ、隊内ノ諸兵又平穩ナリ、各種要注意人物ニ不
穩ノ動靜ナレ、
流言蜚語ナレ、警察部員及縣下各署ハ特別警
備隊ヲ編成待機ス

第二十四表

岩手縣知事電報

二月二十六日午後十時廿分受

一、今朝午前七時ヨリ特別警備配置ス、

茨城県、茨城県、各駅、危険物貯蔵所等ニハ特別警備員ヲ派シ徹夜警戒ニ當ル事定

二、右翼方面ヲ内傾スルニ目下ノ所何等異状ナシ

三、縣廳本部ニ於テハ特別警備隊ヲ組織シ内外警戒中、當分ノ間銃砲ノ譲渡ノ許可ヲ禁止セリ、

四、今日事件発生後釜石方面ニテ在郷軍人ヨリ賣弄百八十発ノ買込ノ許可申請アリタルモ、其ノ理由ハ未月賣弄発射演習ニ使用スルト去フニ在ルモ是亦當分禁止セリ
五、目下ノ處在郷軍人が二三動イテ居ル模様ナルモ其ノ間

ニ統制ナク危険ノ虞ナシ。

第二十五表

三軍縣各率電表

二月二十六日午後十時四十五分

非常警備ニ關スル件報告

本日午前七時貴電並ニ新聞社ヨリ帝都ニ於ケル
軍隊ノ不穩行動発生セルノ報導ニ接シ、當縣ニ在
リテハ即時各警察署ヘ全員召集待機ヲ命ジ其ノ
後ノ情報ニ依リ非常警備規程ニ基テ警備對象物
ノ警戒ヲ為スト共ニ要注意人物ノ視察ヲ行ヒ停車
場ニ張込シテ未往ヲ監視シ一面流言蜚語ノ取締ヲ為
ス等專ラ警戒ニ努メタルモ目下縣下ニ不穩ナル狀況ナ
ク午後七時一先ヅ警備對象物ノ警戒ノミハ之ヲ解キ
タルモ、尙憲兵隊ト連絡ヲ取り査察内偵及流言

聿々ノ取締ヲ繼續シテ治安ノ保持ニ努メツツアリ

第二十六報

二月二十六日
二月二十七日

○京都府電話 (午後十一時三十五分)

京都府ニ於ケル右翼方面ノ一般情勢ニ関シ

一 現役軍人方面ハ平穩ニシテ東上者無シ

二 左翼方面ノ分子ニシテ行衛不明ノ者ヲ認メス

三 右翼方面モ平穩ニシテ異状ナシ

○神奈川縣電話 (午前七時十分)

横須賀方面ノ情勢ニ関シテハ目下一般海兵ハ上陸

禁止トナリ居リ特異ノ行動ナキモ 或ハ水交社

等ニ於テ會合ヲ為スニ非ズヤト認メラルルヲ以

ヲ引續キ注意中

(電)

第二十七報

二十六日午後十一時

警視廳情報(午後十一時)

- 一、行動隊ハ其ノ後警視隊ヲ擴大シテ目下日比谷交又
点迄又ビ同所ニ機關銃ヲ據付ケタリ
- 二、軍事參議官會議ハ終了シ陸相及參謀次長ハ
憲兵司令部ニ只今到着
- 三、櫻田門ノ行動隊ノ一軍曹ハ部下ニ對シ行動隊ノ
形勢不利ナルヲ以テ「諸君ハ決死ノ覺悟ヲマシト
訓示セリト云フ

大塚署報告(午後九時四十分)

午後九時頃武装セル歩兵約二十名内外トラツク

二分乘レ、江戸川橋ヨリ音羽通ヲ經テ大塚終点ニ
向テ通過セリ

現役軍人襲撃事件ニ關スル件

午前五時頃將校ノ指揮スル歩一兵約五百名、歩三
約五之中隊、歩三一中隊、重機銃八、野重砲
八、ハ首相官邸、内大臣私邸、藏相私邸、侍從長官
邸、教育總監私邸ヲ襲撃暴行セルカ現在迄ノ情
況左ノ通ナリ

一、死七又ハ負傷者

(イ) 死七

齋藤内大臣、岡田内閣總理大臣、高橋大藏大
臣、渡邊教育總監

(ロ) 負傷

鈴木侍從長

二、襲撃又ハ占據セル箇所

警視廳

警視廳中庭ニハ約二ケ隊（機關銃ヲ有ス）ノ兵力ヲ集中シ警視廳ヲ占據ス

内務省

内務省ハ相當數ノ軍隊ニテ包圍セラレ出入ヲ禁止セリ

尚宮城ヲ中心トシテ半藏門 赤坂見付 溜池ヨリ

外務、司法、海軍、内務、各省ヘノ交通禁止

牧野伸顯ハ小田原別邸ニテ牧野大外九名ノ兵隊（機關銃ヲ有ス）ニ襲撃セラレ小田原別邸ハ

焼却セラレタルモ本人ハ無事逃避セリ

朝日新聞社

將校ノ率ヒル兵卒約百五十名余襲撃シテ蹶起
趣意書ヲ提示シ印刷ヲ強要セルモ拒否セル爲印刷
場ヲ破壊セリ

國民新聞社

兵隊約一ケ中隊襲撃シ野中大尉ヨリ蹶起理由
書ヲ提示印刷ノ上頒布方強要セリ

電報通信社

約一ケ中隊ニテ襲撃セリ

三、各方面ノ情況

八、零時三十五分頃伏見軍令部總長官殿下

朝香宮殿下、荒木、寺内、真崎、菱川、本庄、
各軍事參議官、宮内大臣、内務大臣、海軍大
臣其ノ他ノ各相及一木、平沼樞府正副議長
等參内御前會議ヲ開催セラレ

2. 午後四時勅裁ヲ經テ戰時警備令(戒嚴令マニ
非ラス)發布セラレ東京警備司令官ノ指揮下
ノ軍隊警戒ニツケリ一市内ノ一般警備ハ警視廳
ニ於テ之ヲ爲シ居レリ

四 内務省ノ執リタル措置

(1) 午前七時全国各地へ新聞記事差止通牒ヲ
發シ同時ニ事件ノ概要並ニ警戒方通牒セリ

(2) 内務省假事務所ヲ警視廳警察練習所内ニ
設置シ東京警備司令部、憲兵司令部及警
視廳其ノ他各方面ト連絡ヲ執リ情報ノ蒐集ニ
努メ居レリ

(3) 地方廳ニ對シテハ時々情況ヲ電話又ハ電報シ
入心安定策ヲ講シ居レリ

五 各地方ノ情勢

(1) 栃木縣(午前十一時五十分)

目下栃木縣金丸原ニ演習中ノ近歩隊四聯隊ノ
千五百名ニハ即時歸還スベシトノ電命アリ(電
命方面調査中)貨車ヲ利用シ歸京ノ準備中
其後ノ情報ニ依レバ午後六時新宿驛着ニテ歸

京スル模様

(2) 神奈川県 (午前十時三十分)

横須賀海軍ハ陸軍ト呼應シテ起ツコトハ全然ナシ

駆逐艦木曾、塩風、中風、下風ノ四隻ハ品川沖ニ向ヘリ

横須賀ノ海軍ノ諸官衙ハ武装セル海軍兵ニ依リ警戒サレ居レリ

(3) 京都府 (午後一時)

京都方面ハ異状ナシ 憲兵ト協調シ治安維持ニ當リ憂フベキ状況ナシ 大阪府モ同様

(4) 神奈川県 (午後〇時三十分)

牧野前内府無事ニ避難中

(5) 石川縣

異状ナシ

(6) 岡山縣

異状ナシ

(7) 群馬縣

軍部ヨリ新聞社ニ對シ躍起趣意書ヲ印刷シテ發行スベシト申來レル由ニ付發行ヲ差止メタリ

(8) 神奈川県 (午後一時五分)

管下ニ御滞在中ノ皇太子殿下、厚子内親王殿下、閑院參謀總長官同妃兩殿下、東伏見宮

大妃殿下、梨本宮守正王同妃所殿下、北白川宮大妃殿下、朝香宮忠彥王殿下、何レモ御安泰ニ在ラセラル

(9) 佐賀縣 (午後一時三十分)

異狀ナシ

(10) 鹿兒島縣

異狀ナシ

(11) 沖繩縣

異狀ナシ

(12) 鳥取縣

異狀ナシ

(13) 滋賀縣

異狀ナシ

(14) 群馬縣 (午後四時三十分)

高崎第十五聯隊ハ中井聯隊長午前九時三十分頃各將校ヲ召集シ輕擧旨勅ヲ慎ム様訓授ヲ為シタリ目下ノ處團體的活動ナク又全聯隊將校中ニハ本件ニ關係アル者無キ模様
郷軍方面モ目下ノ處平穩ナリ

(15) 埼玉縣

現役將校小銃實砲二千發搜帶入縣シタル件ヲ取調
ズノ結果熊谷飛行學校ニ於テ本事件ニ鑑ミ全學校
柴大尉ニ命ジ兵器本廠ヨリ持參セシメタルモノニシテ今

回ノ事件トハ關係ナシ

(16) 青森縣

異狀ナシ

(17) 山梨縣

異狀ナシ

(18) 兵庫縣 (午後五時二十五分)

管下ニハ何等異狀ヲ認めズ

逓信省ヨリ神戸郵便局ニ對シ今回ノ事件ニ關シ

テハ一切報導ヲ取扱ハサル様ニ通牒アリタリ

姫路師團ニモ何等動搖ノ模様ナシ

(19) 和歌山縣

客疑人物ノ動靜及流言蜚語ノ取締中ナレモ不

穩ノ狀況ヲ表メズ

(20) 北海道廳

管内ニ不穩ノ狀況ナク目下全員ヲ動員シテ特ニ

一般ノ神經ヲ刺戟セサル様留意シ警戒中ナリ

(21) 福岡縣

管内重要警備對象物ニ對シ非常警備ヲ完了セ

リ、目下管内ニ於テハ異狀ナレ

(22) 福島縣

管内殆安上異狀ナレ

(23) 台湾

民情至極平穩ナルモ軍部方面ト協力ノ上治安維持及民心動搖ノ防止ニ努メツツアリ

(214) 岡山縣

管下不穩ノ狀況ヲ認メズ、憲兵隊、縣隊ト連絡シ治安維持ニ努メツツアリ

在郷軍人ノ動靜モ不穩ノ点ヲ認メズ

經濟界ニハ多少動搖ノ徴アリ、

(215) 岡山縣

管内目下ノ所至ツテ平穩ナリ

(216) 青森縣

青森第五縣隊ニ相澤中佐ノ感化ヲ受ケタル者三名アリ、上京セントスレ模様アレヲ以テ憲兵隊

ト協カレテ上京阻止ノ手配ヲ為セリ

(217) 山口縣

管下ノ情勢ハ目下ノ所平穩ナリ

(218) 大分縣

管内平穩無事ニシテ人心安定ス

非常警戒ハ引續キ實施セルモ何等事故ナレ

財界有力者ヲ集メ懇談セル所、東京ヨリモ先

ハケコモラトリアムレ等ノ非常措置ヲ為ス計畫ナク

財界一般ニ動搖ノ色ナレ

專ラ東京ノ形勢觀望中ナリ

(219) 長崎縣

管内一般ニ目下ノ所異狀ナク引續キ警戒中

現役軍人ノ襲撃事件ニ關スル件

本日午前五時頃將校ノ指揮スル歩一兵約五百名、歩三約五ヶ中隊、重機關銃八、野重砲八、ハ首相官邸、内大臣私邸、藏相私邸、侍從長官邸、教育總監私邸ヲ襲撃セル件ニ關シテハ既ニ報告ノ通りナルガ、現在並ニ判明セル情況ヲ綜合スレバ大凡左ノ如シ

- 一、死亡又ハ負傷者

(イ) 死亡

齋藤内大臣、岡田内閣總理大臣、海軍教育總監

(ロ) 負傷

鈴木侍從長、高橋大藏大臣

(ハ) 牧野伸顯ハ小田原別邸ニテ牧野大尉外九名ノ兵

隊(機關銃ヲ有ス)ニ襲撃セラレ小田原別邸ハ燒却セラレタルモ本人ハ無事ナリ

ニ襲撃又ハ占據セル箇所

警視廳

警視廳中上迄ニハ約ニヶ小隊(機關銃ヲ有ス)ノ兵力ヲ集中シ警視廳ヲ占據ス

内務省

内務省ハ相當數ノ軍隊ニテ包圍セラレ出入ヲ禁止セリ、

尚宮殿ヲ中心トシテ半藏門、赤坂見付、溜池ヨリ司法、海軍、内務、各省ヘノ交通禁止

朝日新聞社

將校ノ率ヒル兵卒約百五十名餘襲撃シテ隊起趨
意書ヲ提示シ印刷ヲ強要セルモ拒否セル為メ印刷場
ヲ破壊セリ

國民新聞社

兵隊約一ヶ中隊襲撃シテ隊起理由書ヲ提示印刷ノ
上頒布方強要セリ

電報通信社

約一ヶ中隊ニテ襲撃セリ

三、各方面ノ情況

ノ零時三十五分頃伏見軍令部總長官邸下、朝香宮殿
下、荒木寺内、眞崎、菱刈、本庄各軍事務參議官、官内
大臣、内務大臣、海軍大臣其ノ他ノ各相及一木、平沼樞

府正副議長等官中ニ於テ會議ヲ開催

- 又、午後四時勅諭ヲ經テ戰時警備令（初最令ニ非ラズ）
發布セラレ東京警備司令官ノ指揮下ノ軍隊警備ニツ
ケリ、市内ノ一般警備ハ警視廳ニ於テ之ヲ爲シ居レリ
 - 又、宮城近傍ノ警備ニ當レル第一師團ノ軍隊ハ清水軍
人トノ間ニ折衝ヲ行ヒ事態甚シク緩和セラレツアリ
 - 又、帝都ノ交通機關ハ宮城附近ヲ除ク外全ク平常ト
異ナラズ、人心モ著シク安定シツアリ、經濟界モ取引
所ノ立會中止ヲ除ク外銀行等全ク平常ト異ラズ
 - 又、内務省ハ警視廳、東京警備司令官、憲兵司令官ト
連絡ヲ密ニシ情報ノ蒐集、治安ノ維持ニ當リツアリ
- 四、地方ノ狀況

各府縣ヨリノ報告ニ依レバ、各地共何レモ異状ナク且各
地軍隊又始ト動搖ナクモノノ如シ

第二十八報

岐阜縣 電話
二月二十七日午前〇時五十分受

只今管下在任 鳥居元軍醫總監及金田少將ハ
總務部長 訪問 (知事不在ノタメ) シ、
縣民大會ヲ開催シ、昭和維新断行ノ聲明ヲ為ス
ハシト極メテ熱意ヲ以テ申入レタリ、
右ハ其ノ背後ニ右翼團體ノ介在セルニハ非ズヤト
思料セラレ、
尚本日飛行隊長江場少將ヨリモ全様ノ申出アリ
タリ、
縣ハ右大會開催セシメザル方針ナリ。

第二十九報

北海道廳警察部長電話
二月二十七日午前零時五十分

北海道廳ニ於テハ、ラゾ才ノ放送ニ依リテ事態稍々
判明セルヲ以テ一般人心ハ非常ナル衝動ヲ受ケタ
ルモ他面稍々安堵ノ色ヲ示シ、護國聯盟其他極
右團體ニ於テモ目下ノ處自重シ居リ、在郷軍人
並ニ現役軍人等ニ在リテモ不穩ノ形勢見エズ

以上

第三十報

加藤事務官報告(於錦所署)

二月二十六日午後十二時受

- 一、午後十一時半陸相官邸前ノ警察電話切断サル
- 一、秩父宮明日弘前ヨリ御上京被遊覧
- 一、海軍ニテハ芝浦ニテ五十台ノトラックヲ借上ゲタル
モ其用途行先不明
- 一、消防部ハ神田消防署ニ移リタルガ現在迄管内ニ何等
事故ナシ

(以下上野署情報)

- 一、水戸ヨリ一個大隊何レモ鐵兜ヲ攜帶シ重機關銃四
輕機關銃十二ヲ所持シテ十時半上野驛著、同四十二
分集結ヲ終リ、輕機關銃ハトトラックニ乗セ兵八徒

歩ニテ出發信濃所方面ニ向フ

一、參謀本部歐米課渡部少佐ハ警視廳本部ヲ訪問シ
情報交換セリ

(大本木署十一時半報告)

一、麻布枝木町ノ餅果子屋ニ大福二千八分一聯隊ニ、
同二十人分ヲ三聯隊ニ、士官學校ニ大百人分ヲ居
タル様註文アリタリ

一、兵營内ノ狀況ハ全部彈藥ヲ貨物ニ積ミ、一待機中

(表町署情報)

一、陸軍省ニ於テ石原大佐安藤大尉ガ會見シ安藤
ハ石原ニ對シ三個條ノ要求ヲ提示シタルモ石原ハ

「今ノ様ナ戒嚴令ノ行ハレテ居ル狀況デハ仕方ガ
ナイ、先ヅ兵ヲ徹退シテカラニセヨ」ト強硬ニ拒絶
セリ

一、參謀本部ノ渡部少佐ノ意見ハ血ヲ見ズシテ解決
スルゴトニ努力中ナリ

尚唯今警務部長ノ談ニヨレバ戒嚴令宣布サレ
タリト

第三十一報

山梨縣 電話

二月二十七日午前一時二十分受

- 一、乙号非常召集ヲ行ヒ、二三九名ヲ甲府、石和、日下部、猿橋ノ各署ニ待機セシメ居レリ、
- 一、管内各変電所、發電所ニ警察官二名宛配置セリ、
- 一、移動警察官二十四名ヲ以テ各列車ニ二名宛乗車セシメ居レリ、
- 一、各駅ニハ警察官二名宛配置セリ、
- 一、管下平靜ナリ。

○北海道電報（午前五時後）

ゴオレ放送ニ依リ事態判明セルヲ以テ、一般人心ハ非常ニ驚愕シタルモ、他面稍安堵ノ色ヲ示セリ
甘藷同盟其ノ他極右ノ團體ニ於テ已目下ノ處自主ニ居リ、現役軍人並ニ在郷軍人團ニ於テモ動搖ノ模様ナシ。

○徳島縣知事電報（午前五時三十分後）

今朝東京市其ノ他ニ於テ發生シタル陸軍々人ノ暴動事件ニ付管下ニ於テハ視察内偵ヲ嚴ニシテ取締上遺

慥ナキヲ期シツツアルガ、目下ノ處不穩ノ言動ヲ爲ス者
等ナク一般ニ平穩ナリ、尙歩兵第四十三聯隊將校中
休暇旅行セル者七名アリ、其ノ氏名至ニ旅行先ニ付
テハ調査中

○沖繩縣知事電報（午前六時後）

那霸市民ノ一部ニ東都戒嚴令、蔽相暗殺ノ浮説ア
ルモ一般ニハ平穩ニシテ何等動搖ノ象アレ、列續々善政
中

第三十三報

昭和十一年二月二十七日午前五時十五分受

戒嚴令ニ關スル件

一、戒嚴令公布ハ午前二時五十分ナリ

一、戒嚴司令部構成

司令官 香推中將

參謀長 安井藤治少將

參謀 石原大佐（兵力ノ使用）

全 根本大佐（宣傳諜報）

一、司令部ハ午前六時ヨリ軍人會館ニ移ル

一、午前四時半陸相參内ス（用件不明）

第三十四報

昭和十一年二月二十七日午前五時四十分

岡山縣電誌

- 一、縣下ニ於ケル民心ハ昨日來極メテ沈靜ニシテ何等
動搖ノ兆ナシ
- 一、經濟界ニ事件ノ真相判明スルニ伴ヒ平靜ノ傾向
ニアリ
- 一、警察部長ハ旅團司令部ヲ訪レ懇談スルトコロアリ、
軍隊側ハ極メテ冷靜ナル態度ヲ保持シツ、アリテ
將卒共何等昂奮ノ色ナシ
- 一、郷軍、大本教、左右兩翼等ノ思想團體ニ對シテ
ハ憲兵隊ト緊密ナル連絡ヲ保テ嚴重ナル視察
警戒ニ努メツ、アリヲ目下ノ處何レモ動搖ノ兆ナシ

一、東京警備司令部ヨリ來接ノ要求アリ、姫路憲兵隊
ヨリ三十名、岡山分隊ヨリ十名、何レモ本日午前
四時上京セリ

第三十五報

二月二十七日

○會計課長電話（午前六時半受）

内務省附近ニ在リタル軍隊ハ退去シタリ、
附近ハ一般ノ交通可能トナリタリ。

○小林事務官電話（午前六時四十五分）

拓務省、虎ノ門方面ノ行動隊ハ漸次撤退シ
ツツアリ、
内務省、警視廳モ出入自由

秘

第三十六報

山口縣電報（二月二十七日午前六時受）

二十四日一一〇號列車ニテ、軍服着用ノ將校一八名
東上ス、其ノ所屬、氏名、用件等判明セサルモ、内
一名ハ八幡驛ヨリ、二四號列車ニテ麻里布驛ニ
下車シ居タルモノニシテ、「トランク」ニ東京市
杉並區清水町一三四重富[?]又雄ナル「エフ」ヲ附
シ居レリ、為念

第三十七報

(地方ヨリノ情報)

○熊本縣知事電報(二十七日午後四時受)

管下軍隊、軍人、在郷軍人、右翼分子何レモ目下ノ處平穩ニシテ動搖ノ色ナシ、右翼分子ニハ目下所在不明ノ者ナク、何等策動ノ模様ナシ、警察、師團司令部及憲兵ト現狀視察警戒中

○栃木縣知事電報(二十七日午後四時受)

管下ノ狀況目下ノ處異狀ナシ、人心安定シ居レリ

○沖繩縣知事電報(二十七日午後一時一分)

其ノ後管内一般靜穩ニシテ經濟狀態ニ關スル不安、流言蜚語等無シ、尚引續キ憲兵隊ト協力警戒中

○ 高知縣警務部長電話（二十七日午前十一時四十分）

昨日來引續警戒中ナルモ極メテ平穩ナリ

○ 山口縣知事電報（二十七日午前十一時五分受）

管下ノ其ノ後ノ情勢平穩異狀ナシ

○ 石川縣知事電報（二十七日午前十一時五分受）

昨夜來今朝マデ、管下平穩ニシテ何等ノ異狀無之

○ 青森縣知事電報（二十七日午後一時五分受）

管内引續キ平穩、御通牒ニ基キ今朝廳員一同

ヲ集メ懇篤訓示シ各官廳ニモ通牒シ置ケリ

○ 島根縣知事電報（二十七日午後二時一分受）

昨日來管下ノ治安維持並ニ人心ノ安定ニ付キ銳意

努力中ナル處現在迄各方面共平穩ニシテ異狀ヲ
認メス

○ 兵庫縣知事電報（二十七日午後一時五十分受）

神戸取引所ハ昨二十日ヨリ一週間休止但シ米穀

ハ昨二十八日ヨリ立會開始ノ模様、管下各銀行ハ

平常通り開店、手形交換等モ円滑ニ行ハレ、取

付ト見ラレベキ引出者九、其ノ他經濟界ハ平穩

ナリ。

○ 香川縣知事電報（二十七日午前十一時五十六分受）

本日午前ニ於ケル管下ノ狀勢何等動搖ナク平常

ト變リナシ、今朝第十一師團參謀長ヨリ「今時ノ

事件ハ當師團ニ關係ナシ 團下一般平穩ナルヲ以テ

御安心ヲ請フ旨電報アリタリ、同參謀長ハ本日
午前九時善通寺發情報蒐集ノ爲上京シ猶警備
應接トシテ善通寺管下憲兵隊ヨリ憲兵十五名本
日午前十時高松發上京セリ

○ 岡山縣知事電報（二十七日午後。時十分受）

管下ニ於ケル金融界ノ本朝ニ於ケル狀況ハ市部、郡
部共ニ平日ト異ナル所ナシ一般民心亦全ク平靜ニ來
シタリ

○ 埼玉縣知事電話報告（二十七日午前十一時二十分受）

昨朝ノ事件ノ縣下經濟界ニ及ボセル影響首ヲ見ルニ
何レモ極メテ平穩ニシテ特ニ各銀行ノ取引狀況ハ昨日

來毫モ平常ト異ナルコトナク今朝ノ如キ月末ニ接近
セルニモ拘ラズ預金拂戻等極メテ少ク全ク平穩ナリ

○ 山梨縣知事電報（二月二十七日午後四時三十分受）

重大事件ノ發生ニ際シ御心痛ノ程御察シ申上、
管内無事平穩

○ 岩手縣知事電報（二十七日午後四時三十分受）

本日正午迄ニ出版物ノ處分ヲナシタルモノナシ

第三十八報

(二月二十七日午後四時四十五分受)

一、華族會館ハ軍隊撤退セリ(戒嚴司令部情報)

二、新議事堂附近ニハ不正規兵ノ大部隊約六〇〇名
集結中ニシテ目的貫徹スル迄ハ飽迄撤退セズト
豪語セリ(警視廳)

三、戒嚴司令部ノ話ニ依レバ飽マテ血ヲ流サズシテ
解決シタシト稱レ居レリ(警視廳)

四前首相ノ遺骸ハ本日午後五時半頃定橋
ノ私邸ニ移ス豫定（警視廳）

第三十九報

埼玉縣知事電達
二十七日午後五時受

昨朝ノ事件ニ對シ本縣ニ於テハ昨朝七時三十分縣警
察官ニ待檢命令ヲ發シ更ニ午後六時非常警備規程
ニ基ク第一動員ヲ令シ、警齊以下四回ニ名ヲ各警署
署ニ召集管内一般警取ニ當ラレメ待檢セリメタリ、
尚鳩ヶ谷警署管内ニハ

東京電燈株式會社鳩ヶ谷変電所

東京電燈株式會社草加変電所

日本電燈株式會社草加変電所

所在スルヲ以テ特ニ全員召集ノ外警察部ヨリ應接五

名ヲ派シ最速セシメタリ

今朝九時三十分復員ヲ令レハ鳩ヶ谷署ハ夜電所警備ノ爲メ一斉復員シ召集員ヲ一應歸還待機セシメ置キタリ、

午後四時警務部及東京府ニ接スルニ吉川、川戸、鳩ヶ谷、浦和、飯能、所澤ノ六署ニ昨日同様第一動員ヲ令レ一三五名召集レ鳩ヶ谷署ニハ戻ニ警務部ヲリ應援十名ヲ派シ昨日ニ準リ管内ヲ警務待機セシメツツアリ、

第四十一報

○愛媛縣知事電報
二月二十七日午後四時三十九分受

今次ノ事件ニ關シテハ管下歩兵二十二聯隊ニ將兵及在郷軍人並經濟界其ノ他何レモ極メテ自重シ事態靜觀ノ狀況ニ在リ目下ノ處動搖ノ兆ナキモ治安維持ニ善處シツツアリ

○岡山縣特高電話課
二月二十七日午後六時五十五分受

昨夜以來引續キ警戒ニ任シ居レレガ銀行、各事業者何レモ平靜ニシテ人心漸次安定シツツ

アリ

取引所ハ昨日以來中止セルモ其ノ他ノ一般市場
ニ影響セル處極メテ少シ、未ダ治安ヲ害スル如キ
流言蜚語ナク、郷軍、大本教其ノ他左右兩翼
思想團體何レモ平靜ナリ

第四十二報

上京齊齊知事電上報

二月二十七日午後五時

一、管内ニ於ケル治安状況ハ極メテ平穩ニシテ目下
ノ處各方面共動搖ノ徴無シ、警察齊長ハ昨朝未
第十六師團高級副官又京都憲兵隊長ト數次會
合協議ヲ遂ゲ管内治安維持ニ関シ萬全ノ策ヲ
講ジツツアリ

一、第十六師團長ニアリテハ本日今回ノ事件ノ發生動
機ニ不純ナルモノアリ此ノ際所屬齊隊ハ嚴ニ整裝立
動セハル様訓戒ヲ發スレト共ニ一般人心ノ動搖ヲ防止
スル意味ノ聲明書ヲ發表セリ

目下東京地方ニ於ケル財界ニハ大ナル動搖ヲ見ズ
日銀押出ノ増加 現象ノ如キモ一時的ノモノト認メラ
ルル旨ノ一報有測ヲ下シ居レリ、

第四十三報

二月二十七日

○ 岐阜縣（午後六時）

目下ノ處 齋内異狀ナシ

○ 大阪府（午後六時）

目下ノ處 齋内情勢異狀ナキモ一方ニ於テ今田ノ行
動際中ニハ共產系分子混入シ居ルモノ風評アリ
六マレナリト思料スルモ爲念

○ 長野縣（午後六時）

管下情勢変化ナク平穩ナリ銀行其ノ他金融會社
拮据等平素ト変リナク人心動搖ノエトナシ

○ 群馬縣（午後六時）

只今同盟通信ニ依レハ後藤臨時首相ハ本朝各
大臣ト共ニ永田所首相官邸ニ赴クマ行動隊ノ為
メニ包圍サレ目下雜語トナリ居ル外華族會館モ
占據セラレタリトノ風評アリト

○ 熊本縣（午後七時十五分）

第六師團司令齋ニ於テハ主眼者會議ヲ開キ協議
結果、東京ノ情勢視察ノ為メ參謀長蔭中佐ヲ二
十七日太刀洗ヨリ出發セシメタリ
行先地不明ナルモ參謀本齋ト認メラル

第四四報

（宮城縣電話報告）
（二十七日午後七時三十分）

帝都事件ニ対スル管内一般ノ人心ノ動靜ニ関シテ
ハ既報ノ通り平靜ニシテ異狀ナキモ中ニハ事
態ノ推移ニ付キ憂慮シ居ル者無シトセザルヲ以
テ本日左記ノ通告諭ヲ發シ人心ノ安定ヲ圖リテ治
安保持ノ萬全ヲ期シ居レリ

記

告諭第二號

二十六日突如東京市ニ勃發セル事件ニ関シ今晚我
嚴令ヲ布カレ帝都ハ一般ニ平穩ニシテ治安ハ保タ

レ居レリ、縣内ハ勿論全國各地方共何等異
狀ナシ、縣民ハ相戒メテ平靜其ノ業ニ勵マ
レンコトヲ望ム

昭和十一年二月二十七日

宮城縣知事

第四十五報

滋賀縣知事報告

昭和十一年三月二十七日午後八時二十分受

縣内ノ狀勢ニ付テハ其ノ後查察警戒ニ努メ
タルニ管下所在ノ軍隊、右翼分子等ノ動^キヲ見
ス軍民一体平穩ナリ
本日午後一時本職ハ談話ノ形式ヲ以テ左ノ如キ聲
明ヲ發シ縣民ノ自重ヲ促セリ

聲明ノ内容

今般陸軍省及東京警備司令部ヨリ發表セラレ
タルカ如キ事件ヲ見タリト雖其ノ關係地域ハ東
京市方面ノミニシテ既ニ治安維持整備セラレ

市民モ冷靜ナル模様ナリ
本縣内ニ於テハ何等ノ異狀ナキヲ以テ縣民ハ其
ノ業ニ從ヒ冷靜ヲ失ハサル様自重セラレンコト
ヲ望ム

第四十大報

二月二十七日

○北海道廳電毒(午後八時三十分)
昨夜函報ニ於テ今回ノ事件ヲ遺憾トシテ陸相ノ責
任ヲ問フ旨ノ「ビラレ」萬枚ヲ撒布セリ、
目下ノ處在存何レモ動ナレ
人心表面平靜ナルモ内心焦慮ノ氣味アリ

○秋田縣電毒(午後八時三十分)
一秋田歩兵第七聯隊歩兵一小隊ハ概閲銃ヲ擡ヘ模
擬演習ヲ爲ス、高木内百貨店前ニ奔隊ノ進行ヲ
止メ國民体操ヲ爲ス

一、期ノ一小時ハ警察署前ニテ國民体操ヲ為ス
一、三人ノ警察官ニ對シテ頭右レヲ為シ警察官ガ黙セル
ヲ見テ生々ト稱レテ去ル

綴

外

二月廿八日午前九時十分

板敷司令部ヨリ警視廳警衛課長宛左ノ周知徹
底ヲ注文レ来タリタリ

- 一、一般市民ハ當方ヨリ何分ノ指示アル迄努力メテ外
出セハルコト又火ノ元ニ注意スルコト
 - 一、特ニ示ス區域ノ外避難行為ヲ為サハルコト
 - 一、治安ノ状態其ノ他必要事項ハ「ラゲオレ」ニ依リテ放送
スルヲ以テ「ラゲオレ」ヲ附ケ放シニシテ置クコト
- 尚防護團ヲ出勤セシメテハトノ意向ヲ示レタルニ依リ
警視廳側ニ於テ其ノ必要ナル警察力ノミニテ治安
ノ維持完全ナル旨回答シタルモ、結局軍側ニ於テ防

護國ヲ出勤セシムルコトトナルニ非ズトノ事ナリ。

(秘)

號 外

神奈川縣電報報告

二月二十八日午前八時五十分

横須賀航空隊ハ列續々將校足止メノ命令ヲ受ケ
ツツアルニ依ツテ目下外弁ニ連絡行動ヲ起ス模様ナ
*モ同隊將校一機ハ今回ノ反軍行動ハ國体破壊ノ甚シ
*モノ一舉殲滅ノ要アリトノ聲高ク亦東京灣入港
中ノ第一艦隊乗組將校モ同様

以上何レモ中央弁ニ断乎タル處置ヲ要望進言レツ
ツアル模様ナルガ、右將校中急重派ハ軍態ノ延引
ト陸軍中央弁ノ煮切ヲサル態度ニ憤慨シ極力撃破
スベレトノ不穩ナル空氣益々濃厚トナリツツアリ

第四十八報

(二月二十八日)

○埼玉縣知事電話 (午前九時二十分受)
昨夜来管内ニハ何等事故ナク人心平靜ナリ。

○長崎縣特高課長電話 (午前九時受)
縣下ニハ目下ノ處平穩ナリ其ノ他特ニ報告スル
點ナシ。

第四十九報

(二月二十八日)

戒治第九號

東京市聯合防護團出動要求ノ件

戒嚴司令官名

東京市長

東京市聯合防護團長

殿

一、帝~~宮~~ノ治安ハ目下大ナル危険ナ~~ク~~モ南部翹町區
附近ニ一味ノ不安アリテ万一ノ危険ヲ顧慮セザルベ
カラザル然況ニ在リ

一、直ニ東京市聯合防護團（南部翅所正ヲ除ク）ノ中警
護班、交通整理班ノ出動ヲ要求ス
二、出動セル防護團ハ左記治安ニ關スル市民指導要
領ニ合スル如ク行動シ憲兵、警察官黨ノ擾動ニ任
ズルモノトス

記

治安ニ關スル市民指導要領

- 一、一般市民ハ當方ヨリ何分ノ指示アル迄努メラテ外出
セザルコト及火ノ元ニ注意スルコト
- 二、特ニ指示區域ノ外避難行為ヲ為サマルコト
- 三、治安ノ状態其ノ他必要事項ハコラテオレニ依リテ
放送サセルカラコラテオレヲ附ケ放シテ置クコト

（二月二十八日）

本朝戒嚴司令官ヨリ東京市長及東京市聯合防
護團長ニ對シ左記（戒嚴第九號参照）ノ如ク通告シ
タル旨警視總監ニ通牒アリ 為念

警保局保安課長

警務課長

第五十報

二月二十八日

○ 午前十一時二十分

只今大平町官舎方面ハ異常ナシ
交通尚可能ナルモ新橋方面ニ鉄條網張ラル

第五十一報

大阪府電話

二月二十八日午前十一時五十分受

大阪府管内各方面ハ至ツテ平穩ナリ

帝都ハ事態非常ニ悪化シタルヤノ情報アリタルニ付本日午前八時二十分非常警備規程ニ基ク丙号非常召集ヲ行ヒ警察官吏ヲ待機セシメ高特別巡邏班ヲ組織シ市内各所ヲ警邏セシムルト共ニ尚喪電所、瓦斯施設、火藥庫、重要交通機関、電信電話施設、重要金融機関其ノ他ノ重要警備對象物ヲ嚴重警戒中ナリ警察部員ハ三分ノ一ヲ本廳内ニ待機セシメ(特別隊ヲ含ム)萬一二備ヘ以テ萬遺憾ナキヲ期シツ

下リ
ア
...
...

第五十二報

(二月二十八日)

○神奈川県警察部長電話 (午後零時十五分受)

賊界ノ一般狀勢ハ心配ナシ

銀行ノ預金引出ハ平素ト比較シ大シテ多クハナイ

米貨公債、生糸相場ハガタ落ノ狀況

只東京ヨリ散リタル者ガ東京デハ取引デ大變分ガ

横濱ニハソシテ風ハナイカト言フ流言ヲ飛ス者了

出所ハ東京ナルカ如シ。警視廳ニ於テ嚴重取締

ラレタレ

一般治安ハ極メテ平穩ナリ

經濟關係ノ詳細ハ追テ書面ニテ報告ス。

第五十三報

(二月二十八日)

○高知縣知事電報

(午後零時二十三分受)

管内引續々平穩何等憂慮スベク事態ヤレ在郷
軍人ハ極度ニ憤慨且恐縮ニ居レリ
一般ニ五、一五事件ノ判決輕クニ失レタリトノ批難
高知尚敢畧ニ於テモ平常ト異ルコトナレ。

○和歌山縣知事電報

(午後一時三十分受)

目下敢畧動搖ノ兆認メラズ人心平靜不穩分
子ノ策動ナレ。

○佐賀縣知事電報

二月二十七日
(午後三時五分受)

今回ノ事變新聞ニ依リ本朝来一般民ニ周知セラレタルモ民心ノ動搖無ク極メラテ平靜ナリ只今ノ處各方面共何等ノ策動ナシ。右報告ス

第五十四報

二月二十八日

○茨城縣特高課電話(午後一時二十分受)

管内一般ニ互リ何等異狀ナシ
經濟界モ平常ト何等變リナシ

○千葉縣電話(午後一時受)

一、管内一般ノ治安ハ完全ニ保タレ民心動搖ノ模様ナシ
二、金融界ハ平素ト異ラズ現在迄ハ銀行ノ取付等ナシ

一、二十六日未警察カラ集結シ待機シ居リタルモ昨夜未

ノ情勢ニ鑑ミ之レヲ半減シタルガ、更ニ今朝来ノ情勢ニヨリ警察カヲ充實シ極力人心ノ動搖防止ニ努メテアリ、詳細ハ後報

○兵庫縣知事電話（午後一時四十分受）

神戸取引所ハ引續キ休業セルモ經濟界並ニ金融方面ハ動搖無之尚午形交換ハ引續キ行ハレツツアリ

右翼方面團體ハ目下ノ處異狀無之

第五十五報

二月二十八日

○愛媛縣知事電報（午後二時受）

事件ニ關シテ一部公表ニ依リ漸次一般ニ概要周知アルモ管下ノ情勢ハ極メラ平穩ニシテ軍民並ニ賊界共ニ靜穩ノ狀況ニ在リ不穩ノ兆ナシ。

○長野縣電話（午後二時受）

縣下ノ情勢ハ今迄ノ處至ツテ冷靜且平穩ナリ。一般民心ハ事件着々解決セラレ帝都ノ治安ハ現時全ク恢復シタルモノト信シ居ルモノノ如クヲ以テ解決遷延スルニ於テハ不安ノ念ヲ生ズルニ至ルナク裁ヲ保セラレ

カト思料セラル

特ニ金融方面ノ將來深甚ノ注意ヲ要スベシ
要スルニ事件^{即時}解決ノ刻下ノ急務ナリト思料セラル

第五十六報

二月二十八日

○岡山縣電話（午後二時十分受）

- 一、目下憲兵隊ト密接ナル連絡ノ下ニ警戒中ナルガ
管内民心極メテ冷靜ナリ
- 一、米穀取引所ハ二十六日未止銀行ハ平常通り營
業中ナリ財界ニ何等動搖ノ兆ナシ
- 一、御軍其他右翼団体等ハ平穩ナリ

○山形縣電話（午後二時二十分受）

- 一、酒田、鶴岡、西米穀取引所ハ引續キ立會停止
- 一、取引業者ハ事件未解決ナレ為將來ヲ憂慮シ居ル

モ動搖ナシ

三、他ニ団体等ノ動キ無シ

四、本日午後二時頃第八師團長ヨリ山形衛戍司令官

宛事件解決ノ旨電報アリタリ

第五十七報

二月二十八日

埼玉縣知事電話 (午後二時二十分受)

本日午後一時現在ニ於ケル管下ノ狀況概テ左ノ如シ

一、一般民心ノ動向ハ事件ノ解決遷延セル為其ノ或行ヲ憂慮シ多ク不安ヲ感シツ、アル模様ナルモ流言蜚語等少シ概シテ平靜ナリ。

二、株式取引所、取引休止ニ次ギ高橋藏相逝去ノ報ハ財界、經濟界ヲ多ク刺戟セル模様ナルモ銀行其他金融界ノ取引狀況ハ平素ト異ル所ナク平穩ナリ。

三、發電所、變電所、放送所、無線受信所其ノ他警備對象物ハ異狀ナクモ東京市ニ關係セル變電所等ニ對シ

テハ特ニ嚴重警戒セシメツツアリ。
尚非常警備ノ為ノ警察官動員狀況昨夜八時下令ノ
動員ヲ繼續シ夫々警戒待機セシメツツアリ

(以上)

第五十八報

二月二十八日

○ 神奈川県電話

(午後二時四十五分受)

一般狀況報告

- 一、正金銀行ヲ始メ三井其ノ他ノ銀行ノ取引ハ異狀ナシ
- 二、株式取引所横浜支所ハ二月二十六、七日ハ休場二十八日
午前十一時一度取引ヲ為シタリ。
- 三、貿易 二月二十七日午後ヨリ生糸ノ賣買行ハレ居レリ。
- 四、為替 二月二十七日對米相場ハ二十八日為ナリ

(以上)

○ 鳥取縣知事電報

(午後三時二十分受)

管内ノ狀況平穩ニシテ人心安定シ取引關係等モ圓滿ニ

行ハレツツアリ為念

○佐賀縣知事電報 (午後三時二十分受)
管下ノ狀況ハ極メラ平穩ニシテ經濟界モ何等動搖ナ
シ。

第五十九報

二月二十八日

○新鴻縣知事電話

(午後三時四十分受)

突發事件ニ關スル管下狀況ニ關スル件

今回ノ事件ニ對シテハ管下人心ノ動向經濟界ノ狀況等
ニ注意ヲ拂ヒ一方全ク期シツツアルガ現在ノ狀況左記ノ通
記

一、一般狀況

突發事件ニ對シ管下一般住民ハ「ヲケオ」新聞等ニ依リ
事件ノ概要ヲ知り相當衝動ヲ興ヘタルモ之ハ為人心中
搖ナシ目下ノ處平穩ナリ

二、經濟關係

事件突発以來特ニ經濟方面ノ動向ニ注意中ナルカ目
下新潟帝國株取引所ハ臨時休止中ナル外金融、物價
等ニ就テハ格別ノ變動ナシ

○静岡縣知事電話 (午後四時受)

管下ニ於ケル株式關係方面及銀行關係方面共目下、
處平靜ニシテ異狀ヲ認メズ流言蜚語等ニ就テハ嚴密
査察警戒中ナルガ特ニ注意スルモノナシ。

島根縣知事電報 (二月二十八日午後四時二十分受)

警保局長宛

管下ノ治安維持ニ關シテハ松江、濱田各衛戍司令
官並ニ各憲兵隊當局トモ緊密ナル連絡ヲ保テ遺
漏ナクヲ期シツツアリ。現在在任人心ノ不安動搖ナシ。
經濟界亦平靜ニシテ特異ノ事象ヲ認メズ。
尚管下松江、濱田各憲兵分隊ニ在リテハ本月二十
七日午前五時憲兵六名宛其ノ筋ノ命ニ依リ警備
ノ為上京シタリ。

第六十報

二月二十八日

○栃木縣電話（午後四時二十分受）

東京日々新聞本社ヨリ宇都宮支局へ達シタル
ニユースニ依レバ「午後二時戒嚴司令官ハ参内シ
勅ヲ奉ジテ小藤聯隊長ヲシテ革命軍ニ
既隊ヲ勸告シ、之ニ應シテ聯隊長ハ個々引卒
シテ既隊中」云々右為念

○宮崎縣電報（午後四時十七分受）

管下ニ於テハ嚴重警戒中 目下ノ處人心ノ動搖
ナク經濟界ノ狀況亦靜穩ナリ

(秘)

號外

警保局長電報

二十八日午後五時四十分発

各々鑛弁隊長官宛

事態ハ依然好轉ノ模様見ヘハルモ 戒嚴司令部
ニ於テハ行動隊斃命ニ對シ屢々説得ニ努メタル後
撤退方ヲ命ズルト共ニ優勢ナル兵カラ以テ之ヲ包
圍シ若シ肯ビザルニ於テハ之ヲ繳滅セントスルノ準備
ヲ為シ居ルガ如シニ一般治安並ニ財界ノ狀勢ニ付
テハ異狀ナシ、

第六十一報

(二十一日)

○ 福良縣知事電報(午後四時十分)

本日電報指指示ノ件管内ノ人心ハ安定シ居リ財界
ハ目下異状ナレ、尚午後ニ於テモ中央齊ニ変動ナ
限リ動搖ナ見込。

○ 沖繩縣知事電報(午後五時二十五分)

一昨夜ハ西市ニ非常警戒ヲ行ヒ昨夜ハ管内
全般ニ互リ特別警戒ヲ實施シテ警戒シタルモ何
等異状無シ尚高橋前藏相死七ニ對シテハ經濟
界ニ影響スルコトアルベキトノ意向ヲ有スル者アル

其他ニ流言蜚語無ク銀行其他ノ取引格段ノ變動
無ク人心平安、引續キ警戒中。

第六十二報

二月二十八日

○神奈川縣知事電話（午後八時受）

一、横浜生糸取引所ノ狀況ハ曩ニ報告、通ナル
ガ二月二十四日、生糸價格ハ七百十三圓ナリ
シ處今日、取引値段ハ七〇〇・一七・五圓ナリ。
二、綢育生糸取引所、狀況ハ大体、價格二月二
十五日ト同様ナリ。

○高知縣知事電報（午後七時三十分）

管下ニハ今迄何等異狀ナシ。

○宮城縣知事電報（午後八時五十分）

管内依然異狀ナシ。

第六十三報

(三月二十八日)

○埼玉縣知事電報(午後九時四十分)

本日午後八時現在ニ於ケル管下ノ狀況概ネ左ノ如シ

- 一、一般ニ流言蜚語等ナク人心概ネ平靜ナル共鑄物及鐵物工場(秋久鑛山、所澤鐵、川口鐵等)ハ事件ノ見送ニ付カザル爲取引ハ極度ニ減少セリ、又川口鑄物工場ヲ東京市内ノ取引關係ニ於テ平形拂増加ノ傾向ヲ示シ居レリ、其ノ他縣下各銀行ハ平常ト變化ナレ、

- 二、本縣上下ハ殆ト全齊麻布第三、步兵第一聯隊ニ入管シ居レル關係上麻布第三聯隊入管者ノ家族近親者ハ子弟ノ行動尿參加ヲ極度ニ憂慮シ居レル向モ經過ニ伴ヒ不安ヲ増サントスルノ

情勢ニ在リ、

三、変電所其ノ他警備對象物ニ對シテハ夜間ニ入り一層警戒シツツアルモ異狀ナレ、

四、交通状態ハ目下ノ處平日ト変リナマモ、東京鉄道局上野連輸事務所ヨリ本日午後五時頃同所旅客係田井宗平及川口、大宮両驛長ヲ通ジ川口、大宮両警察署長ニ對シ國鉄高崎線及東北本線ハ東京市ニ於テ新事態發生ノ際ハ大宮驛迄ニテ折返シ運轉ヲ行ヒ、省線電車ハ大宮、川口間ノミヲ折返シ運轉スレテ定ナル旨入報アリタルニ付其ノ際ニ於ケル各駅ノ乗降者ノ誘導整理等ニ付テハ充分留意セシメ居レリ、

五、東京市ニ新事態發生ノ際ニ於ケル管内警備並ニ交通運轉ノ方法ニ付テハ警察部並ニ警務署ニ於テ具体的計畫ヲ樹立セシメ非常勤員及非常應援隊等遣態ナマフ期シ居レリ、

第六十四報

二月二十八日

○滋賀縣知事電話（午後十一時）

一、管下一般ノ狀勢ハ安定シ居レリ、

一、右翼方面ニ於ケル策動ナク上京セントスル者ナシ、

一、財界ハ目下ノ處安定シ居リテ東京ニ變動ナキ限り變化ナキモ米穀取引所ハ休業シ居レリ、尚右翼關係其ノ他ニ付テハ引續キ視察發言戒中ナリ、

○長崎縣知事電報（午後十一時）

管下各方面トモ依然平靜ニシテ株式取引所

休止、他經濟界何等ノ異狀ナシ。

第六十五報

(二月二十九日)

○ 沖繩縣電報 (午前一時四十分後)

午前五時電報承、當縣下一般平靜ニテ何等動搖ノ兆ナレ、警察署所在地特別警邏今後已續行ノ予定、本日午後警察署長室ニテ憲兵隊長、縣隊区司令官ト共ニ新聞社員十数名ト懇談ヲ爲ス、目下流言蜚語等ナクモ帝眷が一日モ早く明朗ナル解決ヲ爲サントフ望ム聲漸ク高レ、

○ 宮城縣電報 (午前一時三十五分)

二十八日仙臺駅長ニ對シ臨時列車編成命令ヲ非タル件

ニ關シテハ既報ノ所、出勤警隊、仙合歩兵第四聯隊ノ
中第一大隊、第三大隊、機關銃隊ノ三隊、此ノ兵員五五〇
名、馬二十頭ニテ、之ヲ以テ混合一個大隊ヲ編成（數時編成）
本日午前零時十分仙合警備隊盤敷道リニテ出発。

第六十六報

（二月二十九日）

○戒嚴司令部通達（午前二時五十分受）

戒治第一〇號

- 一、今朝五時半頃ヨリ電車ハ全市、自動車ハ舊田
市内運行停止（皇族用、軍用、官廳用ヲ除ク）
- 一、今朝五時頃ヨリ丸ノ内一帯ノ普通瓦斯ノ供
給ヲ停止ス（但シ李王邸、伏見宮邸、黒田公邸、
一條公邸ヲ除ク）

○奈良縣知事電報（午前三時三十分受）
其後引續キ右翼分子ノ上京絶対阻止、流言蜚語ノ
嚴重取締等ヲ勵行シ居レルガ、目下ノ處要注意人物
ノ動靜並ニ敷界ノ狀況等ニ異狀ナク縣下ノ治安ハ
十分維持セラレツツアリ。

第六十七報

（三十九日午前五時廿五分）

戒嚴司令ヲヨリ只今討伐命令ヲ発セラル、

午前五時三十分市民避難ノ完了ヲ待テテ行動
開始ノ筈、

只今討伐命令ヲ発セラル、（午前五時十分）

第六十八號

(二十九日午前九時)

第二十三號

地方鉄道、軌道、運行停止ニ關スル件
通牒(二十九日附告示第十九號)

地方鉄道、軌道、運行停止ハ本二十九日午前九時三十分ヨリ
別ニ通牒アル迄實施セラレタリ

第三十四號

二十九日午前一時三十分發給告示ニ於ケル告示第十九號
命令中第三項以下ノ事項ハ本日二十九日午前五時三十分別
命アル迄之ヲ實施スベシ、但シ自動車ノ運行停止ハ舊來
床市内ニ限ル

第二十一號

二十八日午前九時三十分戒嚴司令官

一、避難ヲ要スル^區域内ノ非戦闘員ノ撤退及之ニ關係シテ
兵司令官及警視總監等ニ別ニ戒示第十九號及第二十
十號ノ如ク命令セリ

二、第一師團長ハ避難ヲ要スル^區域内ノ非戦闘員ニ對スル
避難命令ノ傳達及撤退等困難ナル時ハ憲兵及警察
官^一所用ノ援助ヲ為スベシ

戒嚴司令官 香椎浩 平

第六十九報

本部ヨリ二十九日午前五時三十分

戒示第十一號

戒嚴司令部命令

二月二十八日午後九時三十分

一、戒嚴司令部ニ於テハ近ク憲兵及警察官 明

二十九日午前五時三十分第一線ヲ進出シ避難ヲ

完了スル如ク避難ヲ要スルモノトス

非戦闘員ヲシテ努クメテ避難セシメ自由區域内ノ

非戦闘員ニシテ今夜避難スル者ハ之ヲ妨ゲサルヲ

要ス

二、憲兵及警察官ハ明二十九日午前五時三十分ヨリ

自由ニ避難差支無キ区域内ノ非戰鬥員ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

三、憲兵及警察官ハ第一項及第二項ノ避難民ヲ移動セシメサル区域内ニ於テ速ニ之ヲ收容シ適宜ノ位置ニソカシムベシ

之ガ行動整理ヲ為シ避難所ハ午前五時迄ニ完了スベシ

避難ニ先チ火災ノ防止ヲナス為所要ノ注意ヲ與フベシ
防護團ヲシテ適宜援助セシムベシ

四、憲兵及警察官ハ移動セシメサル区域内ノ非戰鬥員ノ移動ヲ極力制限シ人心ノ安定治安維持ニ任ズベシ

五、避難ヲ要スル区域内及ヒ自由避難差支無キ区域ノ告示ハ本夜ニ於ケル帝都治安維持ノ目的ヲ以テ明日午前五時三十分トス

六、避難ヲ要スル区域、自由ニ避難セシメラテ差支無キ区域、移動セシメサル区域ハ戒第二十号命令ノ如シ

七、憲兵及警察官ハ任務ヲ分担シ相互ニ之ヲ決定スベシ
八、憲兵及警察官ハ非戰鬥員ノ撤退ヲ完了セバ直チニ戒嚴司令官ニ報告スルト共ニ第一及近衛師團長ハ通知スベシ

九、人民ノ保護、騷擾ノ防止、制限等ヲ考慮シ前各項ハ之ニ適合スル如ク変更スベシ

第七十報

(二月二十六日午前六時三十分
ヲヤオニユース)

一 放棄司令齊発表

第四號

二月二十六日朝敵起セル齊隊ニ對シテハ各々其ノ固有ノ
齊隊ニ復歸スル様再三再四報告シタルモ遂ニ之ヲ聞
入レズ、

抑々之ガ鎮壓ノ爲メ時日ヲ遷延シタル所以ノモノハ万一、武
カヲ以テ之ヲ解決セントスルニ於テハ流血ノ慘狀ハ免レサルベク
被擄區數ハ敵ニ畏クモ 官報ヲ始トシ皇王族命ニ及ブ恐レア
リ且ツ其ノ地域内ニハ外國公館ノ存在スルアリ 斯ル情勢ニ
導クハ極力之ヲ回避スベキノミナラス 皇軍互ニ相討ツハ皇國
精神上忍ビガル所ナリ、 然レトモ時日ノミヲ遷延シ治安維

持ノ確保ヲ素ルハ莫ニ恐懼ニ堪ヘズ故ニ昨日上奏ノ上 勅ヲ奉ジ各ノ所屬ニ復歸スルコトヲ傳達シタルモ之ヲ聞カズ彼等ハ遂ニ 勅命ニ抗スルニ至リ、事茲ニ至リ遂ニ已ムテク武カラ以テ事態ノ解ヲ囿ルニ決セリ不幸兵火ヲ交フル場合ニ於テモ其ノ地域ハ麴所区永田町附近ノ一小区ニ限定セラルマヤヲ以テ一般市民ハ徒ラニ流言蜚語ニ惑ハサルルヲナク 努メテ其ノ居所ニ安定センコトヲ希望ス

二、告諭等ニ就テ

本廠ハ更ニ救護令第十四條全部ヲ適用シ斷乎南赤麴所附近ニ於テ救護ヲ起シタル一隊ノ誅バヲ期ス

地域ハ狭少ニシテ其ノ波不ハ大ナラガレマヤヲ平想スルヲ以テ一般市民ハ良ク軍隊出動ノ目的ヲ了解シ平靜ナルヲ要ス

三、市民心得

本二十九日麴所区南赤附近ニ於テ多少ノ危險ガ起ルカモ知レヌカ其ノ他ハ危險ナレト思辨セラルルニ甘市民ハ良ク救護司令下ノ軍隊ヲ信ジ左ノ諸項ヲ嚴守セヨ

- (一) 別ニ示ス時機迄外出ヲ見合セ自宅ニ在リ特ニ火災等ノ予防ニ注意セヨ
- (二) 特別ニ命セラルタル地域ノ者ノ他ハ避難スベカラズ
- (三) 適宜ヲヤオレ其ノ他ノ方法ニ依リ正確ナル告知ノ方法ニ依リ正確ナル告知ノ方法ヲ執ルヲ以テ徒ニ流言蜚語

ニ迷フハカラズ

因ニ避難ヲ要スル地敷ハ

三宅坂、赤坂見附、虎ノ門、桜田門ヲ連シ市電ニ乞マレ
タル區域

第七十一報

本部情報

二月二十九日午前五時十五分麹町署情報

永田町派出所員ノ報告ニ依レバ 佐倉第五十七聯隊
第一大隊長ハ永田町派出所附近ヲ奉勅傳達ト云ヒ
三宅坂附近ノ下士官兵ニ對シ「兵ハ直ニ所屬部隊
ニ歸レ」高堀第一師團長ノ命令ナリト云ヒ奉勅
ヲ体シ下士官兵ハ直ニ第一師團司令部ノ隣ノ空地ニ
集合スベシ
道路ハ赤坂見附ヲ通シ第一旅團ハ前記ノ下士官兵ノ
通り道ヲ開ケルト云ヘリ

第七十二報

二月二十九日午前六時四十分ニユース

一、新聞社、市役所等公街ノ自動車ニ依ル
通行ハ之ヲ遮断ス

二月二十九日午前八時十分ニユース

一、只今避難ヲ完了シタリ
避難シタル者モ其ノ他ノ方々モ平靜ヲ保テ安心
シテ下サイ

第七十三報

二月二十九日午前八時四十分ニユース

一、麴町附近ニテ銃聲が聞エルカモ知レマセヌガ
決シテ心配ハアリマセン

二、銃聲が聞エタラ成ルベク低い處デ掩護物ヲ利用
シ銃聲ノ聞ヘル方ノ反對ノ方向ニ位置スルノが最
モ安全デス

ノ銃聲ノ聞エタラ成ルベク低い處デ掩護物ヲ利用
シ銃聲ノ聞ヘル方ノ反對ノ方向ニ位置スルノが最
モ安全デス

...

...

第七十四報

(三月二十九日前八時廿三分)
本 齋 情 報

午前八時三十分攻撃開始命令下ル

第七十五報

本部情報

二月二十九日午前八時四十分

一、麴町警察署前ニ近衛歩兵第三聯隊ノタンク五台アリタルモ陸軍省ヲ目指シテ前進タンクニハピラ四枚ヲ掲ゲ其ノピラニハ謹ミテ勅命ヲ奉ジ武器ヲ捨テ我方ニ下レトノ趣旨アリ

一、麻布三聯隊歩兵少佐某が青山南町陸軍用地広場ニ於テ拳銃ヲ以テ頭部ヲ射チ自殺セリトノ情報アリ

一、用語ノ統一上旗色ヲ闡明ニスル為兩後行動隊ハ之ヲ叛軍ト稱ス(戒嚴司令官情報)

一、避難民ノ情况 午前七時四十五分全部避難完了

避難民内訳 (表町署八千、麴町署五千五百、麻布署三千五百、丸の内署七千)
避難ノ状況ハ極メテ靜謐平穩ナリ
避難区域外ハ不必要ニ避難スル者ナク概シテ平穩ニシテ民心ハ落付キ居レリ

二月二十九日午前八時五十分

一、只今佐倉聯隊ハ司法省裁判所内ニ陣取り攻撃姿勢ヲ示シ居ル 第三階ニ機関銃ヲ据付ケ新議事堂ニ向ケ正ニ發砲スルカ如キ姿勢ヲ取ツテ居ル 叛軍ノ兵卒中ニハ既ニ投降ヲ申出スル者ガ相富アル模様ナリ

第七十六報

二月二十九日午前八時四十五分ニユース

戒嚴司令部

兵ニ告グ 勅命ガ發セラレタノデアアル、既ニ天皇陛下ノ御命令ガ發セラレタノデアアル、オ前等ハ上官ノ命令ヲ正シイモノト信ジテ絶對ニ服従シテ誠心誠意活動シタノデアアラウガ、既ニ天皇ノ御命令ニヨツテオ前達ハ皆原隊ニ復歸セヨト仰セラレタノデアアル、コノ上オ前等ガアクマテモ抵抗シタナラハ勅命ニ反スル事トナツテ賊名ヲ帯ヒネハナラス、正シイコトヲシタト信ジテ居タノガ、ソレガ間違ツテ居タト信ジタナラハ徒ニ今マテノユキガカリヤ義理上カライツマテモ反抗的態度ヲトツテ天皇陛下ニソムキ表キリ逆賊トシテノ悪名ヲ永久

ニシケル様ナ事ガアツテハナラヌ、今カラモ決シテオソクナイカラ軍旗ノ下ニ復歸スル様ニ、ソウシタラ今マデノ罪ハユルサレルノデアル、オ前達ノ父兄ハ勿論ノコト國民全體ハミナソレヲ心カラ祈ツテキルノデアル、スミヤカニ現在ノ位置ヲステ、原隊ニ復歸セヨ

第七十七表

(三月二十九日 前九時三十分
ラゲオニエース)

戒嚴司令音発表

コトニ依ルト銃聲ガ聞エルカモ知レマセンガ冷汗イテ現在ノ位置ヲ動カナイデ下サイ、家ノ外ニ出ルト流聲ガ飛デ来テ却テ危険カモ知レマセンカラ、寧ロ家ニ居テ厚イ壁ノ陰ニ大々ナ家具ノ後デ静ニ坐テ中テ下サイ、特ニ火ノ御用バヲレテ下サイ

(午前九時十五分 ラゲオニエース)

戒嚴令下ニ在ル區域内ノ者線ヲ始メ其ノ他ノ交通機關ハ運轉ヲ中止シマレタ、

今朝五時頃ノ各線ハ運轉ヲ中止シマレタ。

山手線及赤羽線ハ全線運轉中止、東海道線ハ電車ハ川崎迄、列車ハ横濱迄、中央線ハ電車ハ吉祥寺迄、列車ハ八王寺迄、東北線ハ電車ハ川口迄、列車ハ大宮迄、其ノ他之ヲ連絡スル郊外電車、有線、内外市電、市バス、青バスハ全線運轉ヲ中止シマシタ。

第七十八報

(二月二十九日
午前十時三十分後)

本報情報

午前九時四十五分起所四丁目通ヨリ四谷見附方面ニ叛車一二名位ヨリ勅命ヲ奉シテ原隊ニ歸ルルト記載セル旗ヲ先頭ニ行進セリ。

号外

二月二十九日午前十時三十分發信

内務次官ヨリ

各地方長官宛ノ電報

本日午前五時十分一部住民ニ對スル避難開始命令、
五時二十五分叛軍討伐命令、八時三十分攻撃開始
命令發セラレタルモ、尙戒嚴司令官ニ於テハ叛軍ニ
對シテ謹ンデ勅命ヲ奉ジ軍旗ノ下ニ復歸スベシレ
トノ勸告ニ努メツツアリ、未ダ兵火ヲ交ヘズシテ既ニ
約四百数十名ノ歸順者ヲ出シ、尙ホ續々歸順ノ徵候
アリ、現在帝都ノ一般的治安ニハ異狀ナク且市内銀行、

休業取付等ノ事實ナシ 各位ハ此際管下治安ノ保持ニ
特段ノ留意ヲ致サレ度

第七十九報

(二月二十九日午前九時
ヲケオ、ニエース)

叛軍司令官齊當司令官

二十六日以来部隊ヲ率ヒテ永田所附近ヲ據セル叛軍
ナル一部青年將校ハ奉勅命令ノ下ツタノニモ拘テ之ヲ服従
セズ、遂ニ叛徒トナリ終ツタ。之等青年將校ニ對シテハ三日間
ニ巨リ陸軍大臣、叛軍司令官、師團長、聯隊長其ノ他陸軍首
腦者同僚等ハ晝夜ヲ向ハズ熱誠ヲ以テ原隊所屬ニ復帰スル
事ヲ説得シテ結果一應之ニ恭順セルガ如ク形勢ヲ示レタル事
數回ニ及ンガ、忽ケ之ヲ離ス等ノ事アリ、遂ニ奉勅命令ニ
反旗ヲ翻スニ至ツタ事ハカヘス。モ遺憾デアレ、然レ彼等
ニ率ラレテ居ル兵士等ハ何モ事情ヲ知ラヌ者多クハ勿論デアレ

唯將校ノ命ノ儘ニ之等ニ幸ヒラレテ出テ行ツタ者カ大森分隊
アツテ、彼等ヲ反徒トミル事ハ實ニ忍ビ得ヌモノガアル、今日ニ至ル
迄之等ノ兵士ニ對シテハ夫レノ上官即チ師團長、聯隊長ニ依
リ順逆ノ理ヲ説キ説服スルハ一兵ニ至ル迄
馬ヲ下ツテ説ク等極カ努カレタノデアリ、又可成各所ニ散在
シテ居タムデ、昨夜未順逆ノ理ヲ明ニシテ説得書、ビラ等ヲ散布
シ、又今朝未飛行機ニ依テ散布シ、或ハ廣告氣球電報ノ利用
等凡ル手段ヲ講ジテ居ルノデアリ、之ガ爲昨夜未今曉ニカケテ
下士官以下百數名ノ歸順者カアツタガ午前九時辰ニ赤坂山王木
アル附近ニテ約一五〇名、赤坂見附々近ニ約二百名等前九時三十分
赤坂留池方面ニ於テ約一ニ〇名ノ歸順者カアツタ、此ノ分ヲハ今後
共續々歸順ヲ得ルモノト思ハルル、幸ニシテ堆今ニ至ル迄今迄
兵火ヲ交フルニ至ツテ居ナイ。

（下）（上）

第八十報

二月二十九日

戒嚴司令部発表

（午前十時十三分）

- 一、午前十時稍前參謀本部附近ニ於テ機關銃ヲ有スル
下士官以下三十名カ歸順シマシタ。更ニ各方面ニ於
テ歸順ノ兆徴ガアリマス。
 - 二、幸ニシテ只今ニ至ルマデ未ダ兵火ヲ交ヘテ居マセン。
- 戒嚴司令部発表（午前十時五十五分）
- 一、第一師團方面ニ於テハ反乱軍ニ對シ戰車ヲ派遣シテ
兵士説得ノビラヲ撒布セリ
 - 二、飛行機ヲ以テスル兵士説得ノビラ撒布ハ依然繼續

シツ、アリ

③、今朝避難ヲ命ゼラレ退去シタルモノノ財産ハ戒嚴部隊ノ進出ニ伴ヒ憲兵及ヒ警察官ヲシテ逐次保護ニ任ゼシメツ、アリ

④、幸ヒニシテ只今ニ至ルマデ兵火ヲ交ヘ了ラズ

第八十一報

本部情報

二月二十九日午前九時二十分受

一、只今(時間不詳)麻布二百派出所前ニ機関銃ヲ有セル三ヶ分隊歸順ス 指揮者某軍曹ハ拳銃自殺セリ、同時ニ歩兵ニヶ分隊歸順ヲ表示セリ
二、戒嚴部隊ノ指揮者ノ指揮ニ依リ夫々原隊ニ歸還中

二月二十九日午前十時四十五分受

二十九日午前十時二十分憲兵司令部 副官ヨリノ通報ニ依レハ

一、歩兵三聯隊少佐 天野武助ハ第三聯隊射撃場裏ニテ
拳銃自殺ス 本件ニ関係アルモノノ如シ
一、參謀本部及陸軍省ハ正規軍ニテ占據ス

二月二十九日午前十時四十五分後

一、午前九時栗原中尉ハ部下ト共ニ參謀本部ニ於テ第一
聯隊長小藤大佐ト會見ス
一、首相官邸裏ノ叛軍ハ四十九聯隊ニ歸順ノ申出アリタ
ルニ付警備隊ヨリ表町署ヘ「トラック」三台ノ調達方
申出アリ 目下調達中
一、午前十時六分受信 只今參謀本部ニアリタル叛軍三十名
投降ノ模様

一、帝室林野局附近ニ在リタルモノモ續々投降ノ模様
一、午前八時三十分表町署内ニ駐在セル四十九聯隊長ハ山王
下幸樂ノ行動隊ノ中ニ入り 歸順ヲ勸告ス 三十名
許リ 武装解除 近衛三聯隊ニ同伴歸隊セシム
一、午前十時受信(表町署ヨリ) 近衛三聯隊ノ叛軍ハ全部
歸營セリ 之ニツキテハ 甲府四十七聯隊大隊長ノ勸告
シタル結果ニヨルモノノ如ク 尚首相官邸裏方面ノ叛軍
ノ警戒ハ出迎ノ意味デ 四十九聯隊同方面へ出動ス 同
隊ニハ 戦車 大四、小六 續行ス

第八十二報

戒嚴司令部發表

二月二十九日午前十一時三十五分

午前十時五十分 首相官邸及ヒ山王ホテルニアル極少
部隊ヲ除キ反乱部隊ノ下士官兵ノ殆ンド全部ハ大ナル
抵抗ヲサズシテ歸順シタルヲ以テ間モナク反乱ノ鎮
定ヲ見ルニ至ルベシ

戒嚴司令部
二月二十九日
午前十一時三十五分
第八十二報
首相官邸及ヒ山王ホテルニアル極少
部隊ヲ除キ反乱部隊ノ下士官兵ノ殆ンド全部ハ大ナル
抵抗ヲサズシテ歸順シタルヲ以テ間モナク反乱ノ鎮
定ヲ見ルニ至ルベシ

第八十三報

二月二十九日
午前十一時四十分

○ 戒嚴司令部發表

- 一、治安ノ恢復ハ近々ニイリト思ヒマスカラ近々國內通信ノ禁止ハ解除サレル豫定
 - 二、避難者ノ状態平靜
- 避難者帰還ノ時期ハ後刻命令了ルヲ以テ無断帰宅ハ禁止シマス。

○ 憲兵司令部情報

(本部ヨリ) 正午受

午前十一時現在 一、小隊及山王水テル内ノ將校ヲ除々全部歸順セリ。

○戒嚴司令部ヨリ警視廳ヘノ通知 (本部ヨリ正午受
最早警視廳ヘノ帰還執務支障ナシ、鉄道並ニ通
信ニ對スル制限モ間モナク解除ノ見込。

112

第八十四報

二月二十九日

飛行機ヨリ撒布セル小型ビラ

一、下士官兵ニ告グ 今カラデモ遅クナイカラ、原隊ヘ
歸レ

二、抵抗スル者ハ全部逆賊ダカラ射殺スル、

三、才前達ノ父母兄弟ハ國賊トナルノヲ皆泣イテ居ルゾ

二月二十九日

戒嚴司令部

第八十五報

二月二十九日

○大阪府知事電報 (午前十一時二十五分受)
本日各銀行ハ平常通營業ニ居レリ。
一般財界及人心共ニ平靜ナリ。

○富山縣特高課電話 (午前十一時四十分受)
一、管内一般ニ平穩ナリ。經濟界亦平靜ナリ。
二、管下在郷軍人分會長聯合會議開催ノ豫定ナルガ
目的ハ本件ニ關シ自重方決議スルモノノ如シ。

○高知縣知事電報

(午後零時三十五分受)

管下ニ於テハ何等ノ異狀ナク人心平穩ナリ、今朝モ銀行其ノ他金融機関平常通業務ヲ開始セリ。

第八十六報

二月二十九日

○本部ヨリ情報(警視廳報告)午前十一時三十分

一日本銀行、勸銀、安田、三菱、三井、正金、各銀行何レモ開業シ居ルモ来客少シ、三越其ノ他百貨店モ開業、深川正米市場開場シ居ルモ取引スル者少シ

一神田正米市場モ開場セルモ取引スル者少シ

○本部ヨリ情報(正午)

大藏省ハ平常通大手町ノ聽舍ニ於テ執務中ナリ

第八十七報

二月二十九日
ラヂオニュース

○戒嚴司令部発表

(午後零時三十五分)

- 一、鐵道軌道ノ運行停止ハ午後零時ヨリ解除サレマシタ
但シ市内電車自動車ハ依然禁止サレテ居リマス。
- 二、東京市内カラノ電信電話ハ國內通信ニ限り受件ノ
停止ヲ解カレマシタ。

○戒嚴司令部発表

(午後一時三十分)

- 一、避難民ハ未ダ帰宅ヲ許サレナイガ、南麴町区附近ノ
危険区域外ノ親戚知友ノ所ヘハ行ツテモ宜ロシイ、
- 二、環狀線カラ外方ノ市内電車及自動車ノ運行ハ午後

一時三十分ヨリ許サレル筈、

第八十八報

二月二十九日

○ 愛媛縣知事電報

(午後零時四十三分受)

管下ニ於テハ事件ニ關聯シテ輕舉妄動シ徒ラニ流言
蜚語シテ民心ノ動搖ヲ來スガ如キトナク又應召上京
セントスルモノナシ、其ノ他一般治安及賤界ニ異狀ナシ、

第八十九報

二月二十九日

本部情報

(午後一時二十分受)

山王ホテルノ栗原中尉以下一五。名ハ十二時四十分
武装解除原隊ニ帰還セリ

首相官邸三〇〇人モ何レモ武装解除機附銃等ハ自
ラ取り片付ケテ間モナク帰還スル筈

帰還ノ遅レタルハ栗原中尉ガ日最後ダカラ華々シク
靖國神社ニ参拝サセテ矣ト云マテト云マテ升タカラテアル
抵抗者一人モ無シ

本部情報

(午後一時四十分頃)

山王水テレルノ安藤大尉ハ拳銃自殺ヲシタラズイ
(確実的)

隊員二〇〇名ハ動搖シテヤル

武装ハ解除シラアル

第九十報

戒嚴司令部發表

二月二十九日 午後三時

叛乱部隊ハ午後二時頃ヲ以テソノ全部ノ歸順
ヲ終リ、茲ニ全ク鎮定ヲ見ルニ至レリ。